

第 21 回

奈良ギター合奏団  
定期演奏会



第40回奈良県芸術祭参加



2009. 10. 31 1:30 p.m.

ならまちセンター市民文化ホール

# プログラム

…………… 第一部 ……………

## クラシック合奏

パール・ギュント 第一組曲 より

朝

アニトラの踊り

ペルシャの市場にて

剣の舞



…………… 第二部 ……………

## 独奏・重奏

独 奏 宮田 稔 スペイン・セレナーデ

独 奏 春元 靖弘 ガロティン  
コーヒールンバ

独 奏 井内 悟 赤とんぼ  
花 (すべての人の心に花を)

二重奏 山岡A&K ジュ・トゥ・ヴ

## 50's アンサンブル

荒城の月

カントリーロード

童神 (わらびがみ)

さくらさくら

涙のトッカータ

テイク・ファイブ

…………… 第三部 ……………

## ポピュラー合奏

ジェラシー

真珠採りのタンゴ

ティコ・ティコ

南京豆売り

アルハンブラの思い出

マカレナの乙女



## 曲目解説

### 第一部

「パール・ギュント」 作曲 エドヴァルド・グリーグ

グリーグの代表作の一つで、イプセンの戯曲「パール・ギュント」のために作曲した劇付随音楽です。管弦楽のための組曲が二つ編まれており、今回はその中から「朝」と「アニトラの踊り」を演奏します。

「朝」は、モロッコのすがすがしい朝の気分が描かれています。

「アニトラの踊り」は、アニトラが場面です。官能的で妖艶なアニトラの姿を表現しています。

「ペルシャの市場にて」 作曲 アルバート・ケテルビー

ペルシャの市場の情景を描いた管弦楽曲で、ノスタルジックな情感あふれる曲想はクラシック音楽入門としても多くの人に親しまれています。市場に出入りするラクダの隊商や蛇使い、占い師、物乞い、お姫さま、カリフなどが登場します。物乞いの合唱にはご注目（ご清聴）を！

「剣の舞」 作曲 アラム・ハチャトゥリアン

ハチャトゥリアンのバレエ「ガイーヌ」の最終幕で用いられる曲で、クルド人が剣を持って踊る戦いの踊りを表しており、きわめて活気に満ちたリズムのために、しばしば演奏会などで演奏される定番曲となっています。一説によると、ハチャトゥリアンは、急遽曲の追加が必要となり、一晩で作り上げたとか。それが一番有名となってしまいました。

### 第二部

「スペイン・セレナーデ」 作曲 ホアキン・マラッツ

原曲はピアノ曲ですが、いかにもスペイン民族楽派的な曲なので、ギター編曲によって演奏されることが多くなっています。

「ガロティン」 作・編曲 土橋幸男

北スペインで20世紀初めにはやった踊り唄です。2拍子系の軽やかな非常に陽気な曲調で、フラメンコにしてはのんびりと歌われています。

「コーヒールンバ」 作曲 ホセ・マンソ・ペローニ

西田佐知子（現 関口宏夫人）さんの昭和36年のヒット曲ですが、元は「モリエンド・カフェ（珈琲豆を挽きながら）」というラテンの名曲です。世界中でヒットしました。

「赤とんぼ」 作詞：三木露風・作曲：山田耕筰

大正十年に北海道函館付近のトラピスト修道院で窓の外の竿の先に、じっととまっている「赤とんぼ」を見て、故郷の兵庫県龍野で幼い自分を背負ってくれた子守娘を思い出して書いたものです。

「花（すべての人の心に花を）」 作詞作曲 喜納昌吉

東京オリンピックの閉会式の感動をつたえるアナウンサーの絶叫「泣いています！笑っています！」が当時高校生であった喜納の脳裏に焼きついていて、平和を、世界をひとつにとの想いから生まれた歌です。

「ジュ・トゥ・ヴ」 作曲 エリック・サティ

サティが1900年に作曲したシャンソンです。アンリ・パコーリによる歌詞がついていました。歌曲集「ワルツと喫茶店の音楽」の内の1曲とされています。小粋で可愛らしい曲ですが歌詞はなかなか情熱的です。

「カントリー・ロード」 作曲 ジョン・デンバーほか  
アメリカのポピュラー・ソングで1971年に発売され、ビルボードで全米2位の大ヒットとなりました。作詞・作曲は、ジョン・デンバーほか2名による共作です。終盤のメロディにもご注目ください。

「童神 (わらびがみ)」 作曲 佐原一哉、作詞 古謝美佐子  
お孫さんの誕生を記念して作られた曲です。NHKの朝の連続ドラマ「ちゅらさん」の挿入歌となり「みんなのうた」で全国に広まりました。今日は、吉田恵実さんの語りが入ったオリジナル編曲版です。

「荒城の月」、「さくらさくら」 編曲：中林淳真  
ともに日本の名曲。『荒城の月』は1901年(明治34年)に旧制中学校唱歌の懸賞の応募作品として瀧廉太郎が作曲しました。『さくらさくら』は幕末、江戸で子供の箏(こと)の手ほどき曲として作られたものだそう作曲者は不明です。名ギタリスト中林氏の編曲が見事です。

「涙のトッカータ」 作曲 ガストン・ローラン  
1973年ポール・モーリア・グランドオーケストラが演奏し大ヒットしました。原曲はピアノ・チェンバロ・ギターを効果的に使ったシャシした演奏ですが、今日のギターだけの演奏で上手く表現できますやら？

「テイク・ファイブ」 作曲 ポール・デズモンド  
曲名は「5拍子」と「5分程度 休憩！」という2つの意味を掛けたものだそうです。リズムが4分の5拍子(3拍子+2拍子)なのでちょっと不思議な感じがします。それでは皆さん5分休憩を！

### 第三部

「ジェラシー」 作曲 ヤコブ・ガーデ  
デンマークの作曲家ガーデの作品で題名は「嫉妬」を意味し、数あるコンチネンタル・タンゴの中でも特に有名な曲です。

「真珠採りのタンゴ」 作曲 ジョルジュ・ビゼー  
カルメンで有名なビゼーの出世作といわれるオペラ「真珠採り」の中の「アリア」が原曲です。リカルド・サントス・オーケストラで大ヒットしました。今日はギターと波の音のハーモニーをお楽しみ下さい。

「ティコ・ティコ」 作曲 ゼキーニャ・ジ・アブレウ  
雀に似たティコ・ティコ(ポルトガル語)という小鳥が餌をついばむ様子を描写したサンバスタイルのラテンナンバー。1943年発表のディズニーによるアニメ「ラテン・アメリカの旅」で有名になりました。

「南京豆売り」 作曲 モイセス・シモンズ  
キューバの町で南京豆の物売りの声にヒントを得て書いたといわれます。それをハバナへハネムーンに来ていたアメリカの楽譜出版社の社長令息が見つけて持ち帰り世界中にルンバ・ブームを巻き起こしました。

「アルハンブラの思い出」 作曲 フランシスコ・タレガ  
南スペインの古都グラナダにあるアルハンブラ宮殿を訪れた際に、その美しさに感動して作曲されました。魅力的なトレモロに彩られた優美極まりないメロディです。

「マカレナの乙女」 作曲 B.B.モンターデ  
スペインのマドリードの闘牛場で演奏されていた曲です。1956年にペレス・プラードがマンボに編曲して世界的なヒット曲になりました。「闘牛士のマンボ」とも呼ばれています。

団員紹介

井内 悟	「最近、抜け毛が減った」と喜ぶ私に、やさしい妻が「抜ける、毛が減ったんじゃない?」。心に刺さるような・・・残るような演奏をお届け出来ればと思っています。
池永 彰吾	腕前はともかく根っからのギター好きです。奈良ギター合奏団にはこの春に入ったばかりですので、みんなの足を引っ張らないように演奏したいと頑張っています。
石原 智子	入団2年目のひよこです。昨年は裏方に徹し、今年は念願の初ステージ!自分の技量不足で続けられるかどうか不安でしたが、やってて良かった!!今からわくわく、ドキドキです。
岩井 道雄	昨年は福山、今年は出雲と、初めて関西を離れての演奏旅行はおかげさまで好評でした。聴いてくださる方が楽しんで、私たちも楽しめる演奏を目指しているのですが・・・本日の演奏は楽しんでいただけたでしょうか?
大野 明子	今年は、ついに「故郷で合奏団の演奏会・故郷に恩返し」という夢が実現し、団員19名で楽しい観光&演奏旅行が出来ました。今日の演奏会も「楽しい演奏会&打ち上げ」になりますように・・・頑張ります!
奥田 奈穂	練習に参加しておりませんがギター好きに変わりはございません。奈良Gのバックアップメンバーとして登録していますのでどうぞよろしく!
小田 順子	今年、出身大学のギター部が廃部になり、ウッドベースを譲り受けました。奈良Gの演奏に素敵な音を響かせてくれています。
北尾 美喜子	入団20年です(*^_^*)何かのご縁で集まった年齢・性別・職業も様々な人たちと合奏を楽しんでいます。今日ご来場の皆さまにもこの時間を楽しんでいただけたら幸いです。
草 あけみ	本当にギターを愛し音楽が好きなメンバーの集いだな〜あと入団4年目で益々感じさせられています。ギターの素晴らしさを皆様も楽しんで下さいますように。
佐々木康雄	50'Sに入会させていただき、やがて丸2年目となります。先輩のメンバー達からは様々な刺激を受けてきました。定期の練習日は充実していてとても楽しいものです。本日は晴れの舞台!その練習成果が発揮できるように心がけてまいります。
高田 浩史	50'Sに入会させていただき、やがて6年目となります。今回は他の行事と重なりやむを得ずの欠席ですが、編曲させてもらった「童神」の曲で参加します。
浜田 正則	今年から合奏団に加入した定年退職まぎわの新人です。奈良ギター合奏団に入り、拍のとり方を学びました。車のウィンカーのカチカチ音もリズムに感じます。本番でも拍を意識して、演奏できるよう頑張ります。

春元 靖弘	毎年、新たな感動の出会いを経験させていただき、ご来演の皆さまに感謝いたしますとともに私も楽しませてもらっています。感動の度合いは年々変化しており、今年とはどんな出会いと刺激があるのか、わくわくしています。
藤戸 克行	今年も、フルート担当します。ギターとフルートの掛け持ちは大変ですが、楽しくやっています。今年、出番を増やしてもらったので、緊張も一入。上からなければいいんですが・・・。
南 和子	学生時代はギター部で過しましたが、その後長いブランクを経て、6年前にギターを再開。奈良ギター合奏団には今年の夏に入団したばかりの新人です。学生時代のクラブ活動みたいな練習がとても楽しいです。そして演奏会に参加できて嬉しく思っています。
宮田 稔	合奏が楽しみで入団して早や3年が経ち3回目の定演出場となりました。ホームページ担当です。
山岡 家	某東海地方の仕事で永らく単身赴任状態でした。半年振りにギターを弾いています。(初彦) そんな↑気楽な日々も終わり、ご飯作りとギターの練習に 気合が入る毎日です。(ホントか〜?) (敦子) 大西師匠に弟子入りしました。ひよっこパーカッションです。よろしく願います。(恵)
横山 伸幸	今年にはコントラバスに挑戦しています。豊かで柔らかい響きをもち合奏ではなくてはならない存在ですが、低音域で地味な楽器のためあまりよく知られているとは言えないようです。さて、奈良Gにおける私の存在は???
笠 慎一郎	入団して22年が過ぎ、ギターはもうすっかり人生の一部となりました。今年には波の音を出す魔法?の箱の工夫と作成を楽しみました。今日演奏する「真珠採りのタンゴ」の中で使用します。さて、波の音がうまく出ますやら、耳を澄ませてお聞きください。
渡部 純子	退職して5年目。第二の青春をギターで楽しんでいます。今日は友人や家族や昔の教え子たちも聴きにきてくれるので練習にも気合が入りました。皆様ごゆっくりお楽しみ下さいますように。
渡邊 宣行	チェンジの年、私も心をリフレッシュして心を磨きたいと願っています。感性が鈍くならないように・・・まあ、こんなところでもいいか・・・と思わないように・・・ちょっとしんどいですがネ。
大西 収 (パーカッション)	パーカッション担当で入団14年目。皆さん楽しんでいただければ嬉しいです。ボンゴ・コンカなどなど叩きまくって曲を盛り上げます。上手く行ったら拍手お願いします。
吉田 恵実 (司会)	美しい音楽が聴けること。おいしい物を食べられること。どちらも幸せです。体重が増えることを除いては・・・今年も円熟味の増した声(?)をお届けします。
米田 哲也 (映像記録)	記録係として、遂に連続17回の皆勤賞です。毎回新しい「チェンジ」を目標に、「スマート」なVISTAへの「政権交代」を目指すも、1年で破綻。仕方なく次期体制の普及まで、「旧環境」に鞭打ってがんばります。